

## 就業機会の減少に関する申立書

記載例

私は、就業機会の減少に関する関係書類の提出が困難であることから、以下のとおり申立書を提出します。申立する事項について相違ありません。

(宛先) 新潟市長

令和5年〇〇月〇〇日

刀がナ ニガタ タウ

氏名 新潟 太郎

生年月日 昭和〇〇年〇月〇〇日

電話番号 090-〇〇〇〇-××××

これまでの 平均月額収入	150,000 円 ※1
申請月の収入	60,000 円
自己の責に 帰すべき理由 又は自己の都合 によらない 収入の減少の 具体的内容	<p>(例1) 〇〇デザイン事務所等を主たる客先とした、フリーイラストレーターとして生計を立てており、平均月収は約15万円であったが、令和2年1月中旬頃から、同事務所からの発注が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急減し、2月以降の受注件数は0件となった。</p> <p>急遽新規客先との業務委託契約を締結したものの、月収は約6万円程度にとどまっている。</p> <p>(例2) ※※株式会社において登録派遣社員として勤務。令和2年3月からテレワークを求められたものの、自宅にインターネット環境が整わないことを申し出たところ、休業を命じられている(2月の勤務日数18日、3月の勤務日数6日)ため、収入は上記の通りとなっている。</p>
証拠書類の 提出が困難な 理由	<p>(例1) 発注元から、電話において業務減少について説明があったが、契約は業務委託契約であるため、「就業機会が減少した」ことを証明する書類が存在しない。</p> <p>(例2) 休業要請は、口頭でのみ行われたため。</p>

※1 休業等以前の6か月間の平均を目安として算出して下さい。